

サロン「おひさま」便り

2015. Vol. 1



由利組合総合病院
がん相談支援センター
0184-27-1200



パステル和アート

◆◆学習会「つらい痛みや気持ちのつらさ」について◆◆

<緩和ケアとは>身体的な苦痛や気持ちのつらさを少しでも和らげるための支援を行い、患者さんが“その人らしく”過ごせるようにしていく医療です。

<痛みは見えないので伝えてください!>

<気持ちのつらさに悩んでいませんか?>不安やつらい気持ちを抱えていると時には「眠れない」「食事がのどを通らない」などの身体症状として現れることもあるのです。

*可能な限り、皆さんの周囲のご家族やご友人などの周囲に相談してみてはいかがでしょうか? また、「がん相談支援センター」に相談することができますので気軽にご利用ください。外出が困難な方でも、電話相談を受けております。

4月のおひさまには

9名の方が

参加して下さいました。入院時の症状のつらさ・手術後の痛みのつらさ・退院後の生活の支障について、参加者同士の情報交換の場となりました。「参加して話せて気持ちが楽になった」とのご意見も頂きました。

☆緩和ケア認定看護師の鈴木聡子さんからのメッセージ☆

痛みや気持ちの辛さを我慢していませんか?

一人で悩まずに相談していただくと私たち看護師はじめ医療従事者は一緒に悩み・考え・良い案が見つかるかもしれません。是非、勇気をもってお話していただだけませんか? いつでもお待ちしております。

どんなことでもかまいません。看護師またはがん相談支援センターまでお問い合わせください。

手ぬぐい素材で患者さんが作った帽子。とても素敵なんです。一緒に作ってませんか?



❀ ❀お知らせ❀ ❀ 次回のサロン【おひさま】 6月16日(火) 11時~15時

◆ 11:00~11:30

認知症看護認定看護師土門典子さん「がんと認知症」

◆ 13:00~15:00

ご希望によりタオル帽子製作・パステル和アート体験

認知症の家族を介護しながらの治療、認知症でがんが見つかったなど認知症に関する悩みを話してみませんか?

午後は、パステル和アート体験やタオル帽子を作りながらお茶しましょう。